

看護学講座 基盤看護学

1. 領域構成教職員・在職期間

教授	長谷川 智子	平成10年6月－（平成19年11月－現職）
教授	上野 栄一	平成17年11月－（令和3年3月－退職）
准教授	飯田 礼子	平成8年4月－（平成21年4月－現職）
准教授	上原 佳子	平成15年4月－（平成23年4月－現職）
講師	北野 華奈恵	平成20年4月－（平成30年4月－現職）
助教	礪波 利圭	平成21年4月－
助教	出村 佳美	平成25年4月－
助教	駒田 裕司	令和元年12月－（令和2年8月－退職）

2. 研究概要

研究概要

基盤看護学分野は、基礎看護学と生命基礎科学の2領域で構成されている。

基礎看護学の研究としては、看護の対象である人間を総合的に捉えることを基盤として、(1)エンドオブライフにおける看護研究、(2)セルフマネジメント教育ニーズのアセスメント・看護診断・看護介入の研究、(3)現象を理論化・一般化する研究手法（内容分析・データマイニング）の開発、(4)専門職のマネジメント（看護管理）に関する研究、(5)コミュニケーションに関する研究、(6)タクティールマッサージの効果の検証、(7)看護学生の禁煙支援力育成のための研究、(8)看護師の感情労働と精神的負担感に関する研究、(9)COPD患者の家族支援に関する研究、(10)誤嚥性肺炎予防のための口腔ケアの研究を行っている。

そのうち、継続的なタクティールマッサージによる効果の検証（基盤研究(C)）、および高齢者の睡眠に対するタクティールケアの効果の検証（基盤研究(C)）は、医学系部門行動科学領域と共同で研究を実施している。また、慢性疾患患者のセルフマネジメント教育ニーズのアセスメント・看護診断・看護介入（基盤研究(C)）、COPD患者の疾病コントロールを支える家族に対する家族支援プログラムの構築（基盤研究(C)、他大学との共同研究）、高齢のCOPD患者の誤嚥性肺炎予防に向けた口腔セルフケア教育プログラムの検証（基盤研究(C)）、看護学生のコミュニケーション時における共感性と共鳴性との関係（基盤研究(C)、他大学との共同研究）を継続して実施している。また本年度より、慢性疾患患者の意思決定行動を含むセルフマネジメントと効果的看護教育介入方法の構築（基盤研究(C)）に取り組んでいる。

生命基礎科学では、トランスクリプトーム解析による年齢依存性発現生体分子の網羅的探索によって見出した新規生体分子M-LP/Mpv17Lの生理的機能の解析を行っている。本分子の発現は、成長とともに増加し、老年期で減少する。従前の研究により、①M-LPは肝および腎のミトコンドリアに局在し、細胞レベルでのM-LPの発現抑制がミトコンドリア膜電位の低下、ミトコンドリアDNA（mtDNA）損傷の増加および細胞増殖能の低下を惹起すること、②M-LP-ノックアウト（KO）ヒト肝がん細胞では、mtDNA維持に関わるTFAMのリン酸化が増加すると同時にそのタンパクレベルが減少することなどが判明した。そこで、このような現象の基盤となる分子メカニズムを明らかにすべく研究を実施している。

キーワード

看護一般、アセスメント能力、看護診断、看護倫理、Advance Care Planning：ACP、意思決定、医療事故、感情労働、慢性疾患患者、COPD患者、セルフマネジメント教育、予防教育、喫煙防止教育、糖尿病予防、誤嚥性肺炎予防、口腔ケア、タクティールマッサージ、タクティールケア、エンドオブライフケア、家族支援、コミュニケーション、テキストマイニング、分子生物学、法医学、加齢医学、遺伝子発現

業績年の進捗状況

＜基礎看護学＞

・2020年度も継続してAdvance Care Planning：ACPに関する研究を行い、学会発表、論文発表の成果をあげた。加えて、呼吸器疾患患者をはじめとする慢性疾患患者に関する研究、および看護過程の展開に関する研究も行い、学会等で成果発表を行った。

・看護学生を対象に、会話分析、POMS、自律神経系、脳波測定、コミュニケーション能力測定を行った。その結果、共感的な態度と治療的なコミュニケーション技法をとることで共感性が生じ、共鳴が生じていることが示唆された。

・健康な成人女性を対象としたタクティールマッサージの効果について検証を継続して実施している。その一部の成果発表を行った。

・子どもを対象としたタクティールマッサージの効果について検証を行い、リラクセーションおよび睡眠に対する主観的な効果があることが明らかになったため、その内容を論文で発表した。

・COPD患者と共に生活を送る家族を対象に、インタビュー調査を進め家族のニーズの明確化を行っている。

・高齢のCOPD患者を対象とした誤嚥性肺炎予防に向けた口腔セルフケア教育プログラムの検討中である。

・腎代替療法選択患者が意思決定する際の看護師の支援行動とは何かを明確にすることを目的とし、看護師、医師、患者を対象にインタビューを実施しながら、帰納的分析を進めている。

＜生命科学＞

・M-LPの発現抑制に伴いTFAMのリン酸化が増加してタンパクレベルが減少する現象にはcAMP/PKA経路が関与するのではないかと考え実験を実施したところ、M-LPはcAMPの分解酵素（環状ヌクレオチドホスホジエステラーゼ：PDE）であり、その分子構造が従来のPDE familyと大きく異なることを世界に先駆けて解明することができた（Iida et al. Biochim Biophys Acta Mol Cell Res, 2020）。cAMPは細胞の多様な生理的応答を媒介する代表的な情報伝達物質の一つであり、cAMP分解活性を持つ一連のPDE familyの阻害薬は、ガン、心不全、COPDなど様々な疾患の治療薬として注目されている。したがってM-LP活性の賦活薬や阻害薬が創薬に発展する可能性が示唆された。

特色等

基礎看護学では、看護学の基礎となる教育を担当している。学部教育では、大学教育入門セミナー、キャリア開発入門、キャリア開発方法、ふくい看護論Ⅱ、疾病論Ⅰ、看護学概論、日常生活援助論、療養生活援助論、看護コミュニケーション論、看護過程論、ヘルスアセスメント論、看護倫理、リスクマネジメント論、看護管理、リサーチマインド、看護学研究概論、看護研究方法論、卒業研究、日常生活ケア実習、看護展開実習、看護技術実習、キャリアアップ実習を担当している。大学院教育では、基礎看護学特論、基礎看護学演習、基礎看護学特別研究を担当する他、看護研究、看護理論、看護管理論、看護政策論、コンサルテーション論、ヘルスアセスメントなどの共通科目も担当している。また、専門看護師教育課程の科目も一部担当している。

研究では、科学研究費（基盤研究(C)）や学内共同研究費を取得して、継続した研究を行っている。そして研究成果を、これまでInternational Council of Nursing：ICN、American Thoracic Society：ATS、European Respiratory Society：ERS、American Association of Respiratory Care：AARC、Nursing&Healthcare Summit、The 27th annual Congress of Korean Association for Respiratory Care and 17th Ventilator Workshop（20th Anniversary International Congress）、Thailand Nursing and midwifery Council World Academy of Nursing Science International Nursing Research Conference：TNMC&WANS等の国際学会で発表しており、国内では日本看護研究学会、日本看護科学学会、日本看護診断学会、日本看護学会、日本看護医療学会、日本呼吸ケア・リハビリテーション学会、日本生理心理学会、日本感染症学会等で多数発表している。また、研究内容や研究成果を、大学の講義等で紹介するなど教育にも活かし、研究と教育・実践とのリンケージをはかっている。

生命基礎科学では、看護学科1年次生の「生命科学」、看護学のための生物学入門」、2年次生の「臨床栄養学」、4年次生の「卒業研究」、および医学科1年次生の「生命現象の科学」の講義（生化学ユニット）と同実習を担当している。看護学科には高校で文系クラスに属していた学生も少なからず在籍することから、生物学知識レベルの個人差が大きく、専門基礎科目の学修に支障をきたすケースが見られた。そこで、高校生物未履修者に対応した初年次生物教育を充実させるため、「看護学のための生物学入門」を開講している。

研究では、科学研究費補助金（挑戦的萌芽研究）の助成を受け、年齢依存性発現生体分子のスクリーニングの過程で見出した新規遺伝子Mpv17Lの発現調節機構や遺伝子産物（M-LPタンパク質）の生理的機能の解明に取り組んできた。これまでにMpv17Lの転写抑制因子Rh1itを同定し（Mol Cell Biol, 2010; Free Radical Biol. Med, 2012; Biores Open Access, 2013）、M-LPおよびRh1itが、mtDNAの損傷によって引き起こされるミトコンドリア機能不全に関与することを見出した（Free Radical Biol. Med, 2015）。M-LP-KO細胞を用いた実験の結果、本分子は、mtDNA維持に関わるタンパク質Mitochondrial transcription factor A（TFAM）のリン酸化に伴う分解を阻止することによって細胞を守る役割を担っていることが明らかとなった（Oxid Med Cell Longev, 2018）。本研究の進展は、成人病や神経変性疾患などの老年性疾患機構の解明や治療法の開発につながっていくものと考えられる。

本学の理念との関係

福井大学の理念は、学術と文化の拠点として、高い倫理観のもと、人々が健やかに暮らせるための科学と技術に関する世界的水準での教育・研究を推進し、地域、国及び国際社会に貢献し得る人材の育成と、独創的かつ地域の特色に鑑みた教育科学研究、先端科学技術研究及び医学研究を行い、専門医療を実践することを目的としている。

基礎看護学では、これらの理念に基づき、研究とEBNIに基づいた教育に力を入れている。研究面でも、睡眠障害を有する子どもとその親が健やかに暮らすための方法として、タクティールマッサージを用いたケアの評価を行うとともに、慢性疾患を抱えた高齢者の健康維持のための教育プログラムを構築し、地域の住民や高齢者の健康増進に寄与している。

生命基礎科学で研究対象としているM-LP、Rh1itなどの年齢依存性発現生体分子は、加齢・老化と密接な関連をもつことから、成人病や老年疾患発症機構の解明や予防医学に資することが期待できる。

3. 研究実績

区分		編数		インパクトファクター（うち原著のみ）	
		2014～2019年分	2020年分	2014～2019年分	2020年分
和文原著論文		2	6	—	—
英文論文	ファーストオーサー	0	1	0(0)	4.105(4.105)
	コレスポンディングオーサー	0	1	0(0)	4.105(4.105)
	その他	2	0	6.787(6.787)	0(0)
	合計	2	1	6.787(6.787)	4.105(4.105)

(A) 著書・論文等

(1) 英文：著書等

a. 著書

b. 著書（分担執筆）

c. 編集・編集・監修

(2) 英文：論文等

a. 原著論文（審査有）

20110008

R. Iida, M. Ueki, T. Yasuda: Human Mpv17-like protein with a mitigating effect on mtDNA damage is involved in cAMP/PKA signaling in the mitochondrial matrix, Biochim Biophys Acta Mol Cell Res, 1867(10), 118792–118792, 202010, DOI: 10.1016/j.bbamer.2020.118792, #4.105

b. 原著論文（審査無）

c. 原著論文（総説）

d. その他研究等実績（報告書を含む）

e. 国際会議論文

20110009

T. Hasegawa, F. Makino, Y. Hashimoto, M. Maeda: Researches on Advance Care Planning and Nursing in Japan, UNAIR The 11th International Nursing Conference, 202006

(3) 和文：著書等

a. 著書

b. 著書（分担執筆）

c. 編集・編集・監修

(4) 和文：論文等

a. 原著論文（審査有）

20110010

北野 華奈恵, 安倍 博, 上原 佳子, 礪波 利圭, 出村 佳美, 長谷川 智子: 子どもに対するタクティール®ケアのリラクゼーション効果の検証, 福井大学医学部研究雑誌, 21, 1–12, 202103

20110011

橋本 容子, 長谷川 智子: Advance Care Planning: ACP推進に向けた看護師のACP支援の行動意図と影響要因—がん看護と非がん看護の比較—, 日本エンドオブライフケア学会誌, 5(1), 42–52, 20210331

20110012

橋本 容子, 長谷川 智子: 看護師のACP (Advance Care Planning) 支援行動の実際と影響要因, 日本看護診断学会誌『看護診断』, 26(1), 4–12, 20210315, DOI: 10.11477/mf.7004200053

20110013

嶋田 恭子, 上原 佳子, 長谷川 智子, 北野 華奈恵, 村田 美穂, 上山 香代子: 看護師のパートナーシップ・ナーシング・システム (PNS) 行動測定尺度の開発, 日本看護管理学会誌, 24(1), 123–132, 20201208, DOI: 10.19012/janap.24.1_123

20110014

北野 華奈恵, 安倍 博, 上原 佳子, 礪波 利圭, 出村 佳美, 長谷川 智子: 子どもの睡眠に対するタクティール®ケアの効果の検証, 子どものこころと脳の発達, 11(1), 71–80, 20200924, DOI: 10.34572/jcbd.11.1_71

20110015

牧野 富美枝, 長谷川 智子, 上原 佳子, 北野 華奈恵, 礪波 利圭, 出村 佳美, 橋本 容子: 呼吸器疾患患者へのアドバンス・ケア・プランニングにおける看護師の行動意図, 日本呼吸ケア・リハビリテーション学会誌, 29(1), 97–103, 20200831, DOI: 10.15032/jsrscr.29.1_97

b. 原著論文（審査無）

c. 総説

d. その他研究等実績（報告書を含む）

20110016

長谷川 智子: 呼吸ケア指導士のコンピテンシー, 日本呼吸ケア・リハビリテーション学会誌, 29(1), 9–9, 20200831, DOI: 10.15032/jsrscr.29.1_9

e. 国際会議論文

(B) 学会発表等

(1) 国際学会

a. 招待・特別講演等

20110017

T. Hasegawa, F. Makino, Y. Hashimoto, M. Maeda: Researches on Advance Care Planning and Nursing in Japan, UNAIR 11th International Nursing Conference, 20200619

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演（口演）

d. 一般講演（ポスター）

e. 一般講演

f. その他

業績一覧

(2) 国内学会（全国レベル）

a. 招待・特別講演等

20110018 長谷川 智子、礪波 利圭：国際学会の登録から発表までのプロセス，第30回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会，20210320

b. シンポジスト・パネリスト等

20110019 長谷川 智子：看護師認定制度のこれまでの歩みと今後の展望，第30回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会，20210319

c. 一般講演（口演）

d. 一般講演（ポスター）

20110020 礪波 利圭，村松 芳幸，小林 恵子，齋藤 智子，小笠原 映子，長谷川 智子，上原 佳子，北野 華奈恵，出村 佳美：在宅酸素療法中のCOPD患者家族の思い，第30回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会，高松市，20210320，日本呼吸ケア・リハビリテーション学会誌，30(Suppl)，213 s，20210215

20110021 加藤 真由美，上野 栄一，鈴木 みずえ，泉 キヨ子，正源寺 美穂，飯田 倫佳：転倒予防に係る省察、臨床判断力、身体拘束についての意識，第40回日本看護科学学会学術集会，202012

20110022 近藤 やよい，上原 佳子，長谷川 智子，北野 華奈恵，出村 佳美：急性期病棟看護師のユーモア態度と認知症高齢者へのパーソン・センタード・ケア看護実践のやる気との関連，第22回日本看護医療学会学術集会，20200919

20110023 田場 真理，松浦 純平，溝口 みちる，守本 とも子，上野 栄一：テキストマイニングによる看護系大学生が考えるCPR実施を阻害する理由（第2報）要因の具体的内容，第40回日本看護科学学会学術集会，202012

20110024 加藤 真由美，泉 キヨ子，鈴木 みずえ，上野 栄一，正源寺 美穂，飯田 倫佳：新人看護師への転倒予防のための臨床判断と省察の支援に関する指導者の状況，日本転倒予防学会第7回学術集会，202010

20110025 木村 かおり，藤原 純子，山田 和夫，佐々木 尊光，Ferdoush Jerin Sultana Jannatul，Mamunur Rahman，Ao Gong，安田 年博，飯田 礼子，竹下 治男：自己免疫疾患に關与する DNase I 遺伝子の遺伝的変異による機能的効果，日本法医学会，20200925

20110026 上原 佳子，長谷川 智子，北野 華奈恵，礪波 利圭，出村 佳美：健康な成人女性へのタクティールケアの効果の検証，第22回日本看護医療学会学術集会，20200919

20110027 嶋田 恭子，長谷川 智子：術前オリエンテーションによる患者の行動変化と術後呼吸器合併症との関連，第24回日本看護管理学会学術集会，金沢市，20200828

20110028 松浦 純平，田場 真理，溝口 みちる，守本 とも子，上野 栄一：テキストマイニングを用いた看護系大学生が考えるCPR実施上の困難感（第1報），第40回日本看護科学学会学術集会，202012

e. 一般講演

f. その他

20110029 松浦 純平，溝口 みちる，植木 奈美枝，守本 とも子，上野 栄一：テキストマイニングを用いたせん妄とPICSに関する研究動向の分析，日本看護研究学会第46回学術集会，202009

(3) 国内学会（地方レベル）

a. 招待・特別講演等

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演（口演）

d. 一般講演（ポスター）

e. 一般講演

f. その他

(4) その他の研究会・集会

a. 招待・特別講演等

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演（口演）

d. 一般講演（ポスター）

e. 一般講演

f. その他

(G) 特許等

区分	内容（発明の名称）	発明者又は考案者
----	-----------	----------

(D) その他業績

4. グラント取得

(A) 科研費・研究助成金等

区分	プロジェクト名	研究課題名	代表者名	分担者名	研究期間	金額（配分額）
区分	研究種目	課題名	代表者名	分担者名	研究期間	金額（配分額）
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)	高齢者の睡眠に対するタクティールケアの効果の検証	北野 華奈恵	長谷川 智子，安倍 博，四谷 淳子，上原 佳子，礪波 利圭，出村 佳美	20180401-20220331	¥1,040,000
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)	高齢のCOPD患者の誤嚥性肺炎予防に向けた口腔セルフケア教育プログラムの検証	出村 佳美	長谷川 智子，上原 佳子，北野 華奈恵，礪波 利圭	20190401-20230331	¥910,000

業績一覧

文部科学省科学研究費補助金	基盤研究 (C)	看護学生とのコミュニケーションにおける共感性と共鳴性との関係	上野 栄一	西村 高宏, 高倉 恭子, 藤本 ひとみ, 山本 恭子	20180401-20210331	¥130,000
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究 (C)	継続的なタクティールマッサージによる効果の検証	上原 佳子	長谷川 智子, 北野 華奈恵, 礪波 利圭, 出村 佳美, 安倍 博	20180401-20220331	¥1,300,000
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究 (C)	COPD患者の疾病コントロールを支える家族に対する家族支援プログラムの構築	礪波 利圭	長谷川 智子, 上原 佳子, 北野 華奈恵, 出村 佳美, 小笠原 映子	20170401-20220331	¥650,000
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究 (C)	慢性疾患患者の意思決定行動を含むセルフマネジメントと効果的看護教育介入方法の構築	長谷川 智子	青池 智小都, 梅田 尚子, 出村 佳美, 上原 佳子, 北野 華奈恵, 橋本 容子	20200401-20240331	¥1,300,000
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究 (C)	慢性疾患患者のセルフマネジメント教育ニーズのアセスメント・看護診断・看護介入	長谷川 智子	上原 佳子, 浅川 久美子, 北野 華奈恵, 礪波 利圭, 出村 佳美, 青池 智小都, 橋本 容子, 梅田 尚子	20160401-20210331	¥0
文部科学省科学研究費補助金	挑戦的研究 (萌芽)	DNA損傷に関わる年齢依存性発現分子の機能解析—法医学から老化医学への展開	飯田 礼子		20190628-20220331	¥1,950,000

区分	機関名	課題名	研究者名	研究期間	契約金額
区分	機関名	課題名	研究者名	研究期間	契約金額

(B) 奨学寄附金

受入件数	0
受入金額	¥0

5. その他の研究関連活動

(A) 学会開催等

区分	主催・共催の別	学会名	開催日	開催地
国内学会 (全国レベル)	主催者	第24回日本看護管理学会学術集会	20200828-20200903	

(B) 学会の実績

学会の名称	役職	氏名
日本呼吸ケア・リハビリテーション学会	編集委員会委員	長谷川 智子
日本看護診断学会	理事	長谷川 智子
日本呼吸ケア・リハビリテーション学会	監事	長谷川 智子
福井呼吸ケア研究会	事務局長	長谷川 智子
日本呼吸ケア・リハビリテーション学会	医学教育事業検討委員会委員	長谷川 智子
日本エンドオブライフケア学会	学会活動推進委員会委員	長谷川 智子
日本呼吸ケア・リハビリテーション学会	学会賞選考委員会委員	長谷川 智子
日本エンドオブライフケア学会	理事	長谷川 智子
日本呼吸ケア・リハビリテーション学会	呼吸ケア指導士認定審議委員会委員	長谷川 智子
日本呼吸ケア・リハビリテーション学会	呼吸ケアスキルアップセミナー実行委員会委員	長谷川 智子
日本呼吸ケア・リハビリテーション学会	呼吸ケア指導士認定委員会委員	長谷川 智子
日本エンドオブライフケア学会	編集委員	長谷川 智子
日本呼吸ケア・リハビリテーション学会	評議員	長谷川 智子
日本環境感染学会	一般会員	長谷川 智子
日本呼吸ケア・リハビリテーション学会	代議員	長谷川 智子
日本がん看護学会	一般会員	長谷川 智子
日本健康心理学会	一般会員	長谷川 智子
日本生理心理学会	一般会員	長谷川 智子
日本呼吸ケア・リハビリテーション学会	理事	長谷川 智子
日本看護研究学会	一般会員	長谷川 智子
日本呼吸ケア・リハビリテーション学会	呼吸不全緩和ケア検討委員会委員	長谷川 智子
日本看護医療学会	一般会員	長谷川 智子
日本呼吸管理学会	一般会員	長谷川 智子
福井呼吸ケア研究会	世話人	長谷川 智子
日本看護科学学会	一般会員	長谷川 智子
日本看護協会	一般会員	長谷川 智子
日本呼吸ケア・リハビリテーション学会	第31回学術集会プログラム委員会委員	長谷川 智子
日本看護診断学会	査読委員	長谷川 智子
NANDA International	一般会員	長谷川 智子
日本看護診断学会	理事長	長谷川 智子
日本生理心理学会	一般会員	上原 佳子
日本看護科学学会	代議員	長谷川 智子
日本看護診断学会	評議員	長谷川 智子
日本生理心理学会	一般会員	上野 栄一
日本健康心理学会	一般会員	上野 栄一
日本看護診断学会	評議員	上野 栄一
日本看護医療学会	一般会員	上野 栄一
日本福祉心理学会	一般会員	上野 栄一
日本看護管理学会	評議員	上野 栄一
日本糖尿病学会	一般会員	上野 栄一
日本看護科学学会	代議員	上野 栄一
日本看護研究学会	一般会員	上野 栄一
日本看護協会	一般会員	上野 栄一
日本災害看護学会	一般会員	上野 栄一

業績一覧

日本人間関係心理士協会	理事	上野 栄一
富山大学看護学会	一般会員	上野 栄一
日本呼吸ケア・リハビリテーション学会	評議員	上野 栄一
医療の質・安全学会	一般会員	上野 栄一
日本看護研究学会	評議員	上野 栄一
日本腫瘍学会	一般会員	上野 栄一
日本看護研究学会	学会雑誌専任査読委員	上野 栄一
日本予防医学リスクマネージメント学会	一般会員	上野 栄一
日本糖尿病教育・看護学会	評議員	上野 栄一
日本法医学会	一般会員	飯田 礼子
日本DNA多型学会	一般会員	飯田 礼子
日本看護学教育学会	一般会員	上原 佳子
日本看護診断学会	理事長補佐	上原 佳子
日本呼吸ケア・リハビリテーション学会	代議員	上原 佳子
日本がん看護学会	一般会員	上原 佳子
日本看護科学学会	一般会員	上原 佳子
日本看護研究学会	一般会員	上原 佳子
日本看護医療学会	一般会員	上原 佳子
福井呼吸ケア研究会	世話人	上原 佳子
日本救急看護学会	一般会員	上野 栄一
日本看護管理学会	第24回日本看護管理学会学術集会企画委員	上原 佳子
日本看護診断学会	幹事	上原 佳子
日本看護研究学会	一般会員	北野 華奈恵
日本呼吸ケア・リハビリテーション学会	一般会員	北野 華奈恵
日本がん看護学会	一般会員	北野 華奈恵
日本看護診断学会	一般会員	北野 華奈恵
日本看護管理学会	一般会員	北野 華奈恵
日本看護科学学会	一般会員	北野 華奈恵
日本エンドオブライフケア学会	一般会員	北野 華奈恵
日本看護診断学会	幹事	北野 華奈恵
日本看護診断学会	理事長補佐	北野 華奈恵
日本看護医療学会	一般会員	北野 華奈恵
日本呼吸ケア・リハビリテーション学会	一般会員	礪波 利圭
日本家族看護学会	一般会員	礪波 利圭
日本看護診断学会	一般会員	礪波 利圭
日本看護科学学会	一般会員	礪波 利圭
日本看護技術学会	一般会員	礪波 利圭
日本慢性看護学会	一般会員	礪波 利圭
日本看護医療学会	一般会員	礪波 利圭
日本看護医療学会	一般会員	出村 佳美
日本看護診断学会	一般会員	出村 佳美
日本慢性看護学会	一般会員	出村 佳美
日本呼吸ケア・リハビリテーション学会	一般会員	出村 佳美
日本看護科学学会	一般会員	出村 佳美
日本看護研究学会	一般会員	出村 佳美

(C) 座長

国内学会 (全国レベル)	学会名	氏名
-----------------	-----	----

(D) 学術雑誌等の編集

学術雑誌等の名称	査読・編集	委員長(主査)・委員の別	氏名	査読編数
日本呼吸ケア・リハビリテーション学会誌	査読	委員	長谷川 智子	2
日本呼吸ケア・リハビリテーション学会誌	編集	委員	長谷川 智子	
日本看護科学学会誌	査読	委員	上野 栄一	1
日本看護医療学会雑誌	査読	委員	上野 栄一	1
Legal Medicine	査読	委員	飯田 礼子	1

(E) その他

6. 産業・社会への貢献

(A) 国・地域等への貢献

(1) 審議会・委員会・公益法人・会社等への参加状況

区分	機関の名称等	委員会の名称等・役割	氏名	期間
----	--------	------------	----	----

(2) 社会人等への貢献及び学校等との連携・協力による活動

区分	活動名・活動内容	主催者・対象者等	氏名
----	----------	----------	----

(B) 国際貢献

国際協力事業

活動名・活動内容	氏名	相手方機関名	役割	期間	活動国名
----------	----	--------	----	----	------

(C) その他業績

(D) 特記事項